



# 第30期 年次報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで



## Our Mission

人間の可能性を最大限に開発し、働く人と企業との間に立って、雇用機会の拡大をめざす。クリエは発足以来、これを最大の使命と考えてきました。今後は、ヒューマンリソースに関するコンサルティングサービスを核とした、よりハイレベルなビジネスを次々に展開していきたいと考えております。

### Mission

**CRIEは人が「活かされ」「生きる」をコーディネートします**

私たちがいつも考えていることは、「事業を通じて関わっていくすべての人やお客様が、よりよく生きるために何ができるのだろうか」ということです。私たちは、このテーマに基づいて、機会を創り出すことと、価値を生み出すことに意味をおいています。

人が「活かされ」「生きる」を考え続け、一歩ずつ近づいていきたい、それが私たちにできる貢献ではないかと考えます。

### Vision

**CRIEは提供するサービスにおいて国内最高のクオリティをめざします**

私たちがめざしているところ、それは「提供するサービスクオリティの高さで評価をいただく」ことです。

そのためには、私たち自身のヒューマンクオリティを最大化し、そこから生まれるサービスで、お客様から常に支持される、そんな存在になってはじめて可能になると考えています。

### Value

**私たちには大切にしているものがあります**

#### クオリティとスピード

われわれが提供するサービスの本質は、クオリティとスピードである。クオリティは安心をもたらす、スピードは価値を生み出す。

#### Think Win-Win

永続的な信頼関係を作り上げる唯一の方法は、Win-Winを考えることである。われわれは常に正直かつ誠実に向き合う。

#### 三つの勇気

革新し続けるためには、「自己を否定する、リスクに挑戦する、責任を取る」この三つの勇気が必要である。その決意があってはじめて革新への前進が始まる。

#### 楽しさと感動

本物の楽しさや感動は、プロフェッショナルな仕事の中から生まれる。われわれはそれを共有する文化を大切にします。

#### 目的共有体

仕事は、主体的な参加である。われわれは自らの意思により目的を共有する存在である。

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。

お陰様で当社は、本年4月11日をもちまして、設立30周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、第30期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の年次報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当社は、この第30期の連結決算において、リーマン・ショック後初めて、増収営業増益を達成いたしました。本格回復に程遠いとは言え、設立30周年の節目において、長期にわたった業績の低落傾向にようやく終止符を打つことができました。

労働者派遣法が施行された年に誕生し、派遣市場と共に右肩上がりの成長を続けてきた当社にとって、リーマン・ショックによる市場の急激な縮小とその後の長い低迷は、予想以上に厳しい試練となりました。それだけに、当社の強みを見つめ直し、「中四国No.1」の総合人材サービス企業をめざそうと打ち出した四国重視の戦略が、いま実を結ぼうとしていることに深い感慨を覚えます。

派遣労働者の受入れ期間の上限撤廃を柱とした昨年9月の法改正は、市場を再び活性化させるものと期待されます。折からの地方創生の機運の高まりも

追い風となるに違いありません。機は熟しました。当社は、この30周年の節目を新たな成長期への転換点としなければなりません。そして今度こそは、市場の変化に左右されない、自律的で、持続的な発展へと確実に繋げていかねばなりません。

当社商号の一部を成す造語「クリエ（CRIE）」には、人材サービスを通して仕事と雇用を創造（Creation）することで社会に貢献したいとの思いが込められております。10年後、20年後、その先の未来においても、雇用の側面からの貢献を通して、社会の中で、常に「活かされ」「生きる」存在でありたい。30周年の節目にあたり、改めて強く決意いたしました。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成28年6月



代表取締役社長 藏田 徹

## 事業の状況

当期のわが国経済は、輸出が弱含むなど、一部に弱さが見られるものの、個人消費が底堅く推移するなど、景気は緩やかな回復基調を辿りました。また、多くの自治体において「まち・ひと・しごと創生法」に基づく地方版総合戦略の策定が進むなど、地方創生の機運が高まりつつあります。

人材サービス業界においては、完全失業率が低水準で推移するなど、雇用情勢は総じて改善傾向にあります。また、平成27年9月に派遣労働者の受入れ期間の上限撤廃を柱とした改正労働者派遣法が施行されるなど、雇用分野の規制緩和が進もうとしております。

このような経営環境の中にあって、当社グループは、30年に及ぶ営業活動で培われた信頼と実績、あなぶきグループの知名度と力量など、多くの強みを有する四国を重視した営業戦略により、同地域での売上高・市場

シェアの拡大を通じた、収益の向上をめざしております。

以上の結果、当期における当社グループの業績は、売上高6,570,481千円（前期比106.9%）、営業利益92,856千円（同120.0%）、経常利益95,248千円（同113.6%）、親会社株主に帰属する当期純利益28,592千円（同70.8%）となりました。

各事業部門の業績は、次のとおりであります。

### 人材派遣

当事業の売上高は3,807,061千円（前期比102.9%）となりました。

当社グループの主力である当事業については、四国重視の営業戦略を推し進めた結果、政策的に新規開拓を手控えた大都市圏での減収分を補って、前期実績を僅かに上回りました。なお、四国における当事業の売上高・市場シェアの拡大を図るため、愛媛県に本拠を置く株式会社ミウラチャレンジを平成27年10月に子会社化しております。

### アウトソーシング

当事業の売上高は2,352,719千円（前期比112.9%）となりました。

物流関連アウトソーシング事業を営む株式会社

クリエ・ロジプラスにおいて、主たる取引先からの受注が比較的堅調に推移したことから、前期実績を上回りました。

### 人材紹介

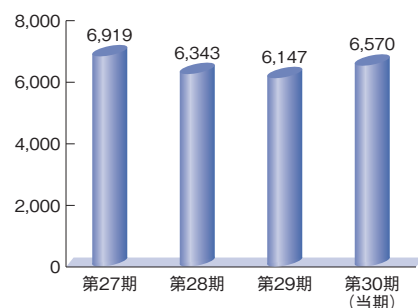
当事業の売上高は136,047千円（前期比79.3%）となりました。

収益性の向上の鍵を握る当事業については、四国重視の方針に従って、大都市圏在住の人材の四国への流入に繋がるUJIターン転職支援に注力したほか、今般の法改正の趣旨を踏まえ、直接雇用への途を開く紹介予定派遣にも積極的に取り組みました。また、引き続き、中四国において幅広い層を対象とした求人開拓と求職者確保にも努めましたが、前期実績を下回りました。

## 経営指標の推移（連結）

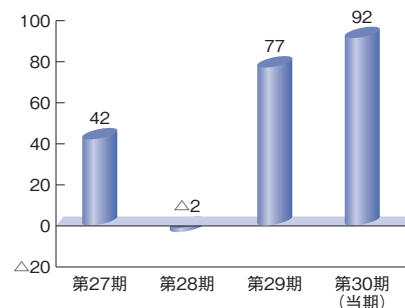
### ●売上高

単位：百万円



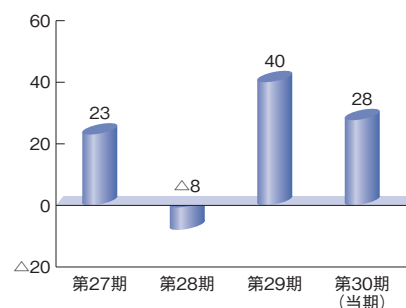
### ●営業利益

単位：百万円



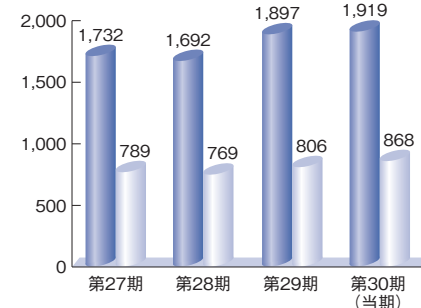
### ●親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



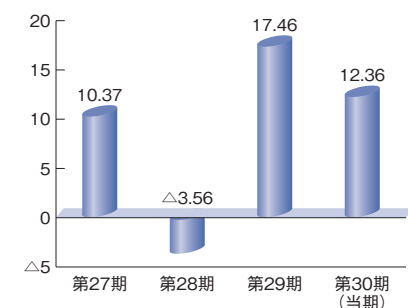
### ●総資産・純資産

単位：百万円



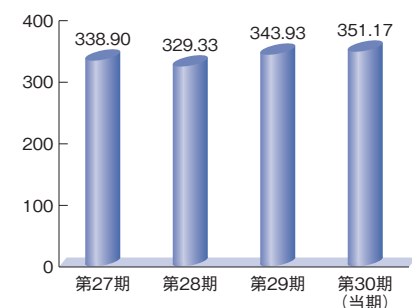
### ●1株当たり当期純利益

単位：円



### ●1株当たり純資産額

単位：円



## 再就職支援

当事業の売上高は7,332千円（前期比21.7%）となりました。

景気悪化局面で需要が急増する特性を持つ当事業については、四国での営業活動に引き続き注力したものの、大型案件の受注がなく、前期実績を大きく下回りました。

## IT関連

当事業の売上高は92,907千円（前期比78.3%）となりました。

株式会社クリエ・イルミネートが首都圏を中心に提供する研修や教材作成のサービスについては、自社教室でのマイクロソフト社SharePoint関連の技術者向けトレーニングは好調を維持したものの、動画を用いた新商品「バーチャルクラス」の販売不振などから、前期実績を下回りました。

## その他

上記の各事業部門に含まれない事業の売上高は、合計で174,414千円（前期比412.4%）となりました。なお、採用コンサルティングへの取り組みを一段と強化するため、平成27年7月に株式会社採用工房の株式を追加取得し、持分法適用関連会社であった同社を子会社化しております。

## 経理の状況

### ● 連結貸借対照表

単位：千円

科目	前期 (平成27年3月31日現在)	当期 (平成28年3月31日現在)	科目	前期 (平成27年3月31日現在)	当期 (平成28年3月31日現在)
<b>【資産の部】</b>			<b>【負債の部】</b>		
流動資産	1,661,291	1,707,775	流動負債	894,859	928,235
現金及び預金	939,185	901,994	短期借入金	26,000	14,000
売掛金	663,274	746,358	1年内返済予定の長期借入金	39,464	158,236
原材料及び貯蔵品	810	644	未払金	74,849	69,920
前払費用	18,619	19,285	未払費用	430,712	466,470
未取還付法人税等	3,213	1,808	未払消費税等	214,056	105,828
繰延税金資産	34,718	35,599	未払法人税等	26,780	26,089
その他	2,447	3,349	預り金	9,434	13,101
貸倒引当金	△ 977	△ 1,264	賞与引当金	67,636	72,453
固定資産	236,407	211,895	その他	5,926	2,135
(有形固定資産)	(17,351)	(19,848)	固定負債	196,539	122,981
建物	8,960	9,389	長期借入金	128,240	40,839
工具、器具及び備品	8,390	10,459	繰延税金負債	—	137
(無形固定資産)	(73,825)	(73,104)	退職給付に係る負債	68,299	82,004
のれん	45,156	54,535	<b>負債合計</b>	<b>1,091,399</b>	<b>1,051,217</b>
ソフトウェア	24,475	14,043	<b>【純資産の部】</b>		
電話加入権	4,188	4,525	株主資本	794,892	811,922
その他	5	—	資本金	243,400	243,400
(投資その他の資産)	(145,230)	(118,942)	資本剰余金	112,320	112,320
投資有価証券	29,740	4,562	利益剰余金	445,837	462,867
繰延税金資産	22,879	26,504	自己株式	△ 6,664	△ 6,664
差入保証金	92,060	87,356	その他の包括利益累計額	476	169
その他	550	519	その他有価証券評価差額金	476	169
<b>資産合計</b>	<b>1,897,698</b>	<b>1,919,670</b>	非支配株主持分	10,930	56,361
			<b>純資産合計</b>	<b>806,298</b>	<b>868,453</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>1,897,698</b>	<b>1,919,670</b>

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## ●連結損益計算書（要旨）

単位：千円

科目	前期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)	当期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)
売上高	6,147,476	6,570,481
売上原価	4,899,781	5,269,342
売上総利益	1,247,694	1,301,139
販売費及び一般管理費	1,170,286	1,208,283
営業利益	77,407	92,856
営業外収益	10,436	6,142
営業外費用	4,000	3,750
経常利益	83,844	95,248
特別利益	1,398	1,954
特別損失	2,762	14,168
税金等調整前当期純利益	82,480	83,034
法人税、住民税及び事業税	32,725	44,019
法人税等調整額	6,099	△ 1,861
当期純利益	43,654	40,876
非支配株主に帰属する 当期純利益	3,275	12,283
親会社株主に帰属する 当期純利益	40,379	28,592

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## ●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：千円

科目	前期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)	当期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	322,716	△ 94,479
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 31,150	54,396
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 46,501	2,892
現金及び現金同等物 の増減額 (△は減少)	245,064	△ 37,191
現金及び現金同等物 の期首残高	695,121	940,185
現金及び現金同等物 の期末残高	940,185	902,994

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

### ●ホームページのご案内●

当社ホームページには、事業内容のほか、株主・投資家の皆様向けの最新IR情報を掲載しております。どうぞご利用ください。



<http://www.crie.co.jp/>

## 会社の状況

### ●会社概要（平成28年3月31日現在）

商号 株式会社クリエアナブキ

本店 香川県高松市磨屋町2番地8

設立年月日 昭和61年（1986年）4月11日

資本金 2億4,340万円

従業員数 98名  
(男性40名、女性58名)

主要な事業内容 人材派遣  
アウトソーシング  
人材紹介  
再就職支援  
組織人事コンサルティング  
研修・測定サービス

連結子会社 株式会社クリエ・ロジプラス  
株式会社クリエ・イルミネート  
株式会社採用工房  
株式会社ミウラチャレンディ

### ●役員（平成28年6月23日現在）

取締役会長 穴吹 忠嗣

代表取締役社長 藏田 徹

取締役 上口 裕司

取締役 大谷 佳久

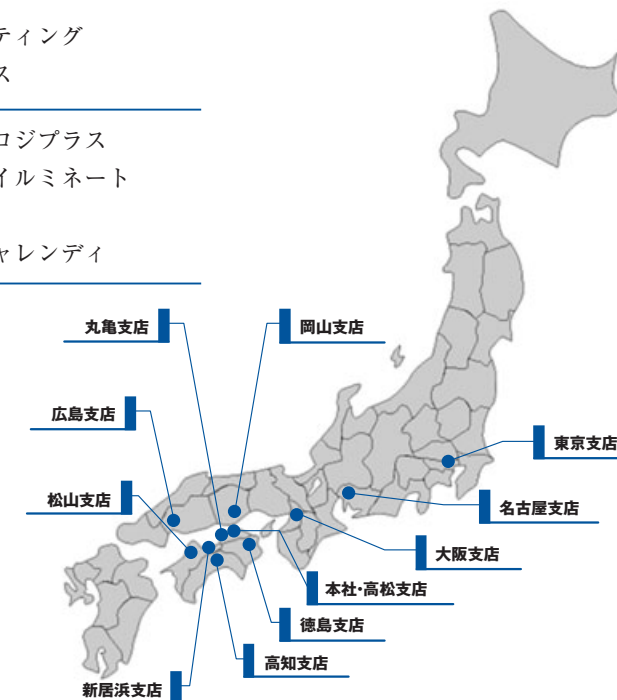
常勤監査役 福田 清之

監査役 柳瀬 治夫

監査役 桑島 美恵子

(注) 監査役柳瀬治夫及び桑島美恵子は社外監査役であります。

### ●主要な事業所（平成28年6月23日現在）



## 株式の状況

### ●株式の状況（平成28年3月31日現在）

発行可能株式総数 9,000,000株

発行済株式の総数 2,340,000株  
（自己株式27,440株を含む。）

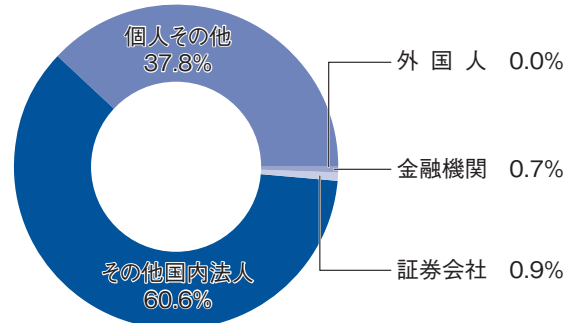
株主数 638名

#### 大株主（上位10名）

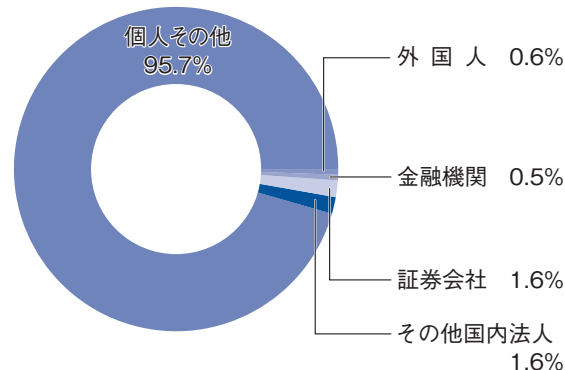
株主名	持株数	持株比率
穴吹興産(株)	1,323,500株	57.2%
藏田徹	228,700株	9.9%
クリエアナブキ従業員持株会	86,400株	3.7%
(株)穴吹ハウジングサービス	65,500株	2.8%
島津実義	61,900株	2.7%
穴吹忠嗣	48,000株	2.1%
深谷泰平	31,000株	1.3%
上口裕司	29,000株	1.3%
山下博	21,000株	0.9%
森本秀代	16,900株	0.7%

（注）持株比率は、自己株式（27,440株）を控除して計算しております。

### ●株式数比率（平成28年3月31日現在）



### ●株主数比率（平成28年3月31日現在）



## 株主メモ

●事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
●定時株主総会	毎年6月
●基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日（但し、中間配当を行う場合）
●株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
●郵便物送付先 （電話照会先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。

## 株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>●单元未満株式の買取請求</li> <li>●届出住所・氏名などのご変更</li> <li>●配当金の受取方法のご指定</li> </ul>	口座を開設されている証券会社
<ul style="list-style-type: none"> <li>●郵便物の発送と返戻に関するご照会</li> <li>●支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>●株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

※ 配当金計算書について  
配当金のお支払いの際に送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用になれます。  
但し、株式数比例配分方式をご選択の株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いいたします。  
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封いたしております。確定申告をなさる株主様は大切に保管してください。